

2007年9月26日
イオン株式会社

レジ袋提供方法見直し（無料配布中止）に伴う レジ袋収益金の使途について

イオン株式会社では、レジ袋提供方法見直し（無料配布中止）に伴うレジ袋収益金（ ）の使途について、下記の通り活用させていただきますので、お知らせいたします。

レジ袋提供方法見直し（無料配布中止）に伴うレジ袋収益金は、その半額を店舗が所在する地方自治体や地域の市民団体などの組織に寄付し、環境保全活動や地域貢献活動などの取り組みに役立てていただきます。また、残り半額は、当社がCO₂排出権を購入し、日本のCO₂排出量低減の一助となるべく、政府（環境省）に無償譲渡（寄付）いたします。

当社は、地球温暖化の主たる要因であるCO₂削減にむけて、“お客さまとともに”「買物袋持参運動」などの省資源活動を積極的に取り組んでおります。その一環として、本年1月より、レジ袋の大幅削減にむけてレジ袋提供方法見直し（無料配布中止）を、行政や市民団体の皆さま、地域のお客さまのご理解、ご協力のもと、ジャスコ東山二条店（京都市）から開始し、現在7店舗で実施しております。本年10月より新たに4店舗でこの取り組みを開始する予定で、合計11店舗となり、一層のレジ袋削減につなげてまいります。

（ ）レジ袋収益金のご提供価格から消費税と原価を差し引いた金額です。

記

レジ袋提供方法見直し（無料配布中止）に伴うレジ袋収益金は、原則1年毎に下記の2種類の使途にあて、店頭、ホームページ、環境・社会報告書などで毎年その内容を公表する。

（1）レジ袋収益金の使途

レジ袋収益金の半額は、店舗が所在する地方自治体、地域の市民団体などの組織に環境保全活動や地域貢献活動などの活動資金として寄付。

レジ袋収益金の残りの半額は、当社がCO₂排出権を購入し、日本のCO₂排出量低減の一助となるべく、原則1年毎に政府（環境省）に、購入した排出権を無償譲渡（寄付）。

（2）レジ袋提供方法見直し（無料配布中止）実施店舗

【店舗名】	【開始日】
ジャスコ東山二条店（京都市）	2007年1月11日
ジャスコ仙台幸町店（仙台市）	2007年6月1日
ジャスコ京都西店（京都市）	2007年6月11日
ジャスコ洛南店（京都市）	2007年6月11日
ジャスコ京都五条店（京都市）	2007年6月11日
ジャスコ金沢シーサイド店（横浜市）	2007年6月11日
ジャスコ伊勢店（伊勢市）	2007年9月21日

2007年10月1日より実施予定の店舗（4店舗）

ジャスコ仙台中山店、マックスバリュ仙台南光台店、マックスバリュ仙台八乙女店
（以上仙台市）、マックスバリュ有松駅前店（名古屋市）

以上